



院内感染対策ニュース

平成29年10月18日 第50号
院内感染対策委員会

釧路市内で無菌性髄膜炎が流行しています

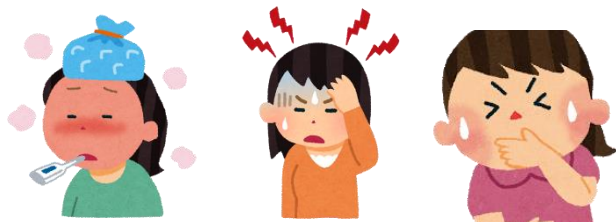
釧路保健所から釧路管内で無菌性髄膜炎の発生が増加しており保健所のホームページで注意喚起されています。主に子供が罹患し家族内で感染が拡大しています。8月当初は小児の罹患が多かったのですが9月にはいと成人の罹患が増えてきました。無菌性髄膜炎は飛沫感染により拡大していく病気です。今回は無菌性髄膜炎についてお話します。

無菌性髄膜炎とは？

髄膜炎症状のある患者から採取した髄液を培養しても細菌が検出せず、起病菌を明らかにできないものを言います
多くはウイルス性髄膜炎をさします。

症状・治療方法は？

発熱・頭痛・嘔吐が3大症状です。
対症療法が中心となります。細菌性髄膜炎に比べ、比較的に症状が軽症であるため、1週間程で症状が軽快することが多く予後良好です。



原因となる病原微生物は？

エンテロウイルス、が最も多く、エコーウイルス、コクサッキーウイルス、ムンプスウイルスなどが検出されます。

エンテロウイルス：手足口病、急性出血性結膜炎

エコーウイルス：かぜ、無菌性髄膜炎

コクサッキーウイルス：手足口病、ヘルパンギーナ

ムンプスウイルス：流行性耳下腺炎（おたふく）

の原因ウイルスでもあります。

感染経路は？

ウイルスを保有している患者や保菌者の咽頭や鼻汁に含まれ飛沫・経口感染が主流。また、ウイルスの感染力が強いので抗体を持っていない人は濃厚接触により容易に感染すると言われています。



感染拡大防止策は？

標準予防策に加えて飛沫感染対策を実施します。

風邪やインフルエンザと同じように感染拡大防止には手指衛生、マスクの着用は必須です。

今回釧路市内で感染が拡大したのは子供が感染し、家族内で感染が拡大した背景があります。

家庭内ではマスクは着用していないため感染が拡大したと思われます。また、子供中心に感染が広がったため、幼稚園、保育園、学校で感染者が増加しました。

これからの季節はインフルエンザも流行期に入るため飛沫感染対策はとても重要になります。

正しいマスクの着用、手洗いや手指消毒の実施など普段からできる感染予防を日常的に実施しましょう。

正しいマスクの着用

鼻からあごまで全て覆い
隙間なくフィット！



鼻が出ている



腕に使用済のマスク
をつけている



使用済のマスクを
ポケットに入れている



使用済マスクを手
に持って歩いている

こんなマスクしていませんか？これは全部×です！

マスクは正しく着用。手指衛生はこまめに！次回もタイムリーな話題をお届けします。お楽しみに！！